

ご紹介が遅くなりましたが、7月、本校に新たな芸術作品が校舎内に設置されました。それは2つのステンドグラスです。「モリ・ステンドグラス工房」(川本哲三)様からご寄贈いただきましたが、この作品は「HIROSHIMA シリーズ」の3作品のうちの2作品なそうです。原爆、平和をテーマにした作品で、両作品とも原爆ドームが被爆の象徴として描かれています。戦後80年の節目に相応しいご寄贈となりました。ありがとうございます。エントランス右(北)側に設置しています。是非ともご覧くださいたいと思います。(右の写真がそのステンドグラス)

さて、9月16日(火)、臨時の全校朝礼を行い、「ルールを守ることについて話しました。7月の「学校評価アンケート」の自由記述を受けて、このたびの朝礼となりました。以下がその話の主な内容です。



ルールを守ること

みなさん、おはようございます。本来、この時間は読書の時間です。この時間を有効に活用している人も多いかと思いますが、貴重な時間を使い、何のために校則などのルールがあるのかについて話します。ちゃんと耳を傾けて聴いて欲しい。

その前に、私が本校に赴任して8年、「日本一、挨拶のできる学校」になることを目標に、みんなに折あるごとに呼び掛けてきました。その結果、どうなったでしょうか。

先週のこと。本校の制服のメーカーである「株式会社トンボ」の岡山本社から、3名の方が本校の視察に来られました。「春にも来させていただきましたが、変わらず生徒の制服の着こなしがとてもいいですね。こんな学校は、そう多くないですよ。しかも、挨拶が良いですね。実に気持ちがいい」と、しみじみとおっしゃっていました。来校される多くの方から、挨拶のできる生徒さんが多いですねという評価をいただきます。とても嬉しいです。私は、最近、みなさんのこうした姿から学校の勢いを感じています。校内に良い風が吹いていると思います。

ここまでできたのは、みんなが気持ちのいい挨拶が素敵なことだと意識して取り組んだ結果なのです。

さて、本題に入ります。先日、「学校評価アンケート」の結果がまとまりました。その生徒・保護者の自由記述の中で、校則違反についての意見が多くありました。昨年も同様の意見があったのですが、改善されていないのは残念です。その意見というのは、

- ・休憩時間、トイレにたまってスマホをしている人が多くてトイレに行きづらい。
- ・トイレの鏡で化粧したり、話し込む人がいて、トイレに入りづらい。
- ・服装のだらしない人は、ちゃんとさせた方がいいと思う。

挨拶がちゃんとできているのに、なぜこれらは改善されないのでしょうか。それは意識して行動していないからです。

校則というと、「守らなければならない決まり」「縛られている」というイメージを抱いている人が多いのではないかと思います。私はそうは思いません。例えば、社会の中には、信号機があり、交通ルールがあるなど、身の安全を守ってくれるルールがあります。これらは私たちの自由を奪うためのものではなく、安心して生活を営むためのものです。校則も同じです。安心して学校生活を送り、夢や目標に向かっていく土台をつくるものです。何よりも、自分をコントロールし、自分を成長させることに繋がるということです。

したがって、校則を守ることとは、あなたが”信頼される人になる”ための第一歩なのです。身近な小さなルールを守る人は、社会に出てから信頼され、大きな責任を任される人になるはずですよ。

こうした話をすると、校則が時代に合っていないので守らないという人がいます。しかし、それは議論のすり替えです。校則を守ることと、校則を見直すことは分けて考えるべきです。

本校には大切な2つの想いがあります。建学の精神(報恩感謝・実践)と教育目標(グローバル・イノベーション・リーダーも育成)です。思いやりと他者をリスペクトする気持ちを育み、様々なことに挑戦しながら、自立から自走へと向かうことは、本校が願う生徒の成長のカタチです。その一環として、「みそあじ」(みだしなみを整える、掃除を丁寧に、挨拶の励行、時間厳守)の徹底など、一人ひとりが前向きに校則やルールを守ることによって、協創生として、協創中高として、輝きを増していくことでしょう。

以上のような思いに立って、先生たちはみなさんにこれからも心から寄り添っていくようにします。